

高効率・低環境負荷

# 冷媒 R32 が拓く、スポット冷却の未来

環境に配慮した冷媒R32を採用したラインナップを大幅に拡大！

R32は、従来の冷媒に比べ、地球温暖化係数(GWP)が約1/3と低く、オゾン層を破壊しない冷媒です。

冷却性能を確保しながら、温室効果ガス排出量の抑制に貢献します。



## 温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化問題が深刻化。

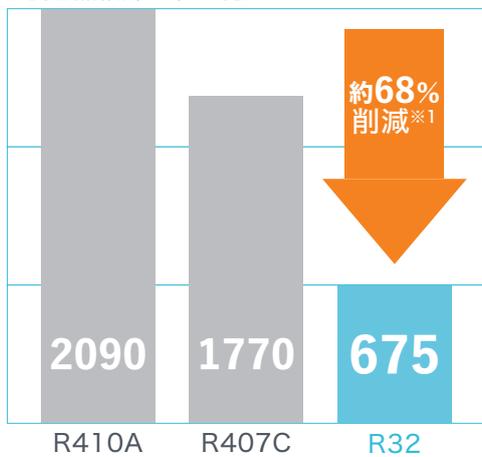
地球は、太陽の熱によって暖められ、その熱を地表から宇宙に放出しています。大気中にある二酸化炭素やメタン、フロンなどの温室効果ガスが、この熱の一部を吸収することで、大気のバランスが保たれています。

しかし、温室効果ガスが増えることで大気のバランスが崩れ、熱を吸収しすぎてしまい地表温度の上昇を招きます。これが地球温暖化現象です。

冷媒R32の選択は、こうした環境課題への重要な取り組みの一つです。

## 環境性能と冷却性能を両立する冷媒 R32

■地球温暖化係数(GWP) 100年値



## R32は地球温暖化影響 約1/3削減<sup>※1</sup>

R410AがGWP2090に対し、R32はGWP675と約1/3。環境への負荷が少ない冷媒です。数値が大きいほど温暖化への影響は大きくなります。

### POINT

オゾン層を破壊しない、オゾン層破壊係数0でさらに地球温暖化係数<sup>※2</sup>が低い冷媒がR32です。

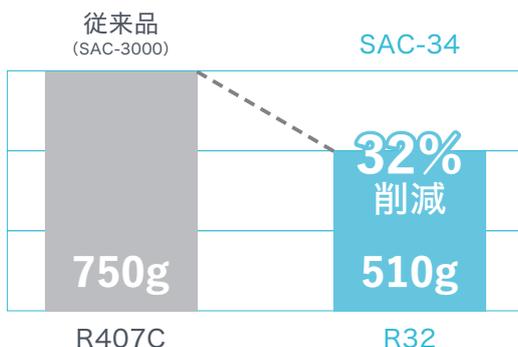
冷媒に使われるフロンは、地球温暖化にも影響を及ぼします。

冷媒による地球温暖化を防ぐためにR32を採用します。

スポットクーラーは、現在GWP低減目標の指定製品対象外となっておりますが、家庭用エアコンディショナーはGWP750以下とする目標値が設定されています。(2023年1月時点)

※1 出典：「IPCC第4次評価報告書」温暖化係数(GWP)100年値。温暖化係数(100年値)：2,090(HFC410A)と675(HFC32)の比較。

※2 地球温暖化に与える影響を数値化したものを示します。



## 冷媒封入量 約32%削減<sup>※3</sup>

高い熱交換率をもつR32は、冷媒充填量もR407Cと比べ32%削減させることが可能。

環境を守りながら現場をしっかり冷やす、環境配慮型スポットクーラーです。

※3 R407C採用の当社従来機との比較。機種・能力・運転条件・配管条件により冷媒封入量および効果は異なります。

ナカトミは、持続可能な社会の実現に向けて、今年は冷媒R32採用モデルなど環境に配慮したスポットクーラーのラインナップをさらに充実させています。